

「日本紅斑熱」届出 増加について（続報）

先日、和歌山市において、日本紅斑熱が10月に入り、集中して4件届出されていることをお知らせしましたが、更に2件の届出がありましたのでお知らせします。

つきましては、今後も同様に臨床上、ダニ媒介感染症が疑われる患者を診断した場合は、行政検査体制を整備していますので、情報提供お願いいたします。

また、患者様等への啓発につきましても、併せてご協力いただきますようお願いいたします。

日本紅斑熱	さらに届出があった症例	
	症例5	症例6
年齢・性別	50歳代・女	20歳代・男
届出日	10月11日	10月21日
発症日	10月7日	10月14日
症状	発熱・発疹 肝機能異常	発熱・発疹
診断方法(PCR)	血液(－) 痂皮(+)	血液(－) 痂皮(+)
咬傷部位(刺し口)	下腿部	下腿部

年間届出数	日本紅斑熱
2019(43Wまで)	9
2018	4
2017	7
2016	2
2015	0

＜行政検査で確保していただきたい検体＞

- ①刺し口 痂皮（滅菌スピッツ）
- ②血液（EDTA加血 2cc程度）

啓発ポスター等は
和歌山市感染症情報センターHP
に掲載しています。

<http://www.kansen-wakayama.jp/topcs/topcs63.html>

